

3年生になってがんばったこと

3年松組 かわせ みそら

わたしが、3年生になってがんばったことは、マットうんどうの前てんです。わたしは、1年生のときも2年生のときも、前てんができませんでした。でも、3年生の体育のじゅぎょうで、前てんをやることになりました。

「わたしは、どうしよう、できるかな」と思って、ドキドキしました。体育のじゅぎょうで前てんがはじまったけれども、やっぱり前てんができなくて、「みんなはできているのに」と思って、どんどんゆう気がなくなってしまいました。

それから、れんしゅうがどんどんつづきました。でも、そのれんしゅうの中でも、じょうずにできたことはありませんでした。

それから、何日かたって、先生が「一人ずつマット運動の演技をしてもらいます」と、言われました。わたしは、「早く前てんができるようにならなくちゃ」と、思いました。れんしゅうをしましたが、やっぱり前てんができることはありませんでした。わたしは、「みんなはできているのに、わたしはできない。」とないてしまったこともありました。

一人ずつ演技するときになりました。わたしは、じゅん番がまわってくるのをまっているとき、「はやく終わってほしい」という気持ちが強かったです。そして、わたしの番がきました。何とか前てんができました。演技を終わってもどると、わたしは、すごくうれしかったです。なぜかという、3年生になって、やっと前てんができたからです。けっして、じょうずとは言えないけれど、わたしは、すごくうれしかったです。ないたり、わたしだけできないと思っていたこともあったけど、これからは、できなくても、きっとできる。今できなくても、本番はできる」と思って、どんなことにもがんばっていこうと思いました。



1学期がんばったこと

3年竹組 いとう ゆうが

ぼくが、1学期がんばったことは、わすれものを1回もしないようにしたことです。2年生のときもがんばっていたけれど、何回かわすれものをしてしまいました。なので、3年生では1回もわすれものをしないように、1学期がんばりました。

ぼくは、わすれものをしないようにれんらくちょうをしっかりと書くように心がけました。なぜなら、れんらくちょうがまちがっていたら、わすれものをしてしまうからです。

また、家でしゅく

だいが終わったら、すぐに次の日の時間わりを合わせるようにしました。そうしないと、時間わりを合わせることをわすれてしまうと思うからです。そして、朝、学校へ行く前に、もう一度確認してから学校へ行きます。

他にもわすれものをしないようにくふうしたことがあります。それは、はんかちやはなかみを夜のうちにランドセルのところににおいておいたり、つくえの本だなを一番見やすいところにしたりして、そこに、教科書などをならべ、とりやすくしたりしました。なので、1学期は1回もわすれものをしていません。

そして、わすれものをすると、となりの人にもめいわくをかけるし、自分もいやなので、ぜったいわすれものをしないように2学期もこの調子でがんばりたいと思います。

また、他にも1学期できなかったことや、苦手なこと、がんばれなかったことを2学期からはがんばっていこうと思います。



1学期に学んだこと

6年松組 松浪 友香

わたしは、1学期を通して、学習だけでなく、いろいろなことを学びました。そして、たくさんの大切な思い出ができました。

修学旅行では、仲間と過ごす時間の大切さを知りました。いろいろな建物を見たのも、食事をしたのも、宿に泊まったことも、全部大切な思い出です。でも、それは、近くに多くの仲間がいたからです。そばに仲間がいたから楽しかったのだと思います。特に宿では、コーヒー牛乳で乾杯をしたり、自由時間にトランプをしたりして、仲間の温かさをずっと感じることができました。

ふとんをたたむことや、見学地のグループ行動では、協力しないとできませんでした。一泊二日の旅行で、仲間との大切な温かい思い出ができました。

陸上部では、いろいろなことにチャレンジする大切さを知りました。わたしは、ハードル走に挑戦しました。はじめは不安でしたがやってみると、新しいことが知れて、とても楽しくなってきました。特に、タイムが上がったり、フォームがきれいだと言われたりしたときは、とてもうれしく、楽しいと思いました。最後は、もうちょっとやりたい、去年もやればよかったと思うことができました。選手にはなれなかったけど、休まず最後まで参加することができ、自分の成長を感じました。これは、チャレンジしたから感じることもできたことです。

このようにわたしは、1学期を通して、仲間とチャレンジすることのすばらしさを学びました。

他にもプール清掃では、最後までやることの大切さ、「桜っ子道場」では、責任をもって教えることの大切さなど、たくさんのことを学び、たくさんの思い出ができました。

普段の授業や生活など、小さなことも大切な思い出です。2学期になっても、このことをわすれず、たくさんのことを学び、学年目標である「足あと」を、仲間と一緒につけていきたいです。



成長した6年生の1学期

6年竹組 樋上 佳純

去年の6年生が卒業し、不安でいっぱいだった4月。小学校生活最後の6年生としての生活が始まりました。1年生も入学し、しっかりしなくちゃという気持ちになりました。

そんな中で、三つの行事を通して、わたしは、成長できたと思います。

一つ目は、対面式です。わたしは、学級委員なので、1年生にプレゼントするメダルの制作の中心となって活動しました。対面式当日は、1年生の笑顔が満開の花のように咲きほこり、わたしもとってもうれしい気持ちになりました。

二つ目は、修学旅行です。修学旅行は、6年生の一番大きな行事です。友達との絆が深まり、友達をととても信頼できるようになりました。奈良・京都の歴史を感じたり、建物を見たりして、それを造った昔の人々の思いにふれることができました。遠く感じる時代にも、今と共通していることがあり、昔の人の知恵が、今の人と同じくらい優れていることを知りました。

三つ目は、陸上です。今年からは陸上部が原則全員参加となり、みんなでがんばっていこうと練習にはげみました。わたしは、100m走と400mリレーの練習をしていました。「どうしても選手になりたい」という気持ちをぶつけるように取り組みました。しかし、100m走の選手にはなれず、補欠になることもできませんでした。選手発表で名前が呼ばれなかったときは、悔しい気持ちでいっぱいでした。でも、400mリレーの選手発表で自分の名前が呼ばれたときの嬉しさは、今でも昨日のことのよう覚えています。跳び上がり、友達とだき合って喜びました。南ブロックの陸上競技会当日、400mリレーは、どの競技よりも先に行われました。3人の仲間と円陣を組んで、

「桜小、絶対勝つぞ！」

と誓いました。結果は、5グループ中5位という結果でしたが、一生懸命走ったので、悔いは残りませんでした。でも、やっぱり悲しかったので、友達と

「今なら泣いていいよね。」

と言ひ合ひ、友達は控え席に帰る途中で、わたしは、トイレで少しずつ涙を流しました。やり切った感じと悲しい気持ちで、自分でもよく分からない複雑な気持ちになりました。

この対面式、修学旅行、陸上でわたしは、たくさんの成長をすることができました。人のために一生懸命働くこと、仲間と自分のために努力すること、そして、友達の大切さ。どれもあたり前のことだけど、改めてその大切さに気付くことができたのが、この最高学年の1学期でした。ここで気付けたことを胸に、これからもしっかりとした人として、歩いていけるように頑張りたいと思います。

